

2015年
2月号

発行：生活クラブ生活協同組合
 発行責任：理事会
 編集：広報委員会
 茨城県牛久市猪子町 992-676
 TEL 029-874-8510 FAX 029-874-3651
<http://ibaraki.seikatsuclub.coop/>

特集：事前予約しよう

わたげ

生活クラブ茨城

消費材シリーズ

げんき米

茨城の米生産者「丸エビ倶楽部」とは1988年に提携を開始。品目は人参やサツマイモ等の根菜類やトマトといった3~4品目くらいでした。

米の取組みは1994年から。現在は交流会や学習会、援農活動など農業を体験する多くの機会を得ています。

●米登録で目指したこと

2月、いつもなら米登録活動が始まる時期です。米協議会をとおして種籾数量を依頼、田んぼでは田おこしが始まっている頃です。私たち組合員はこのあと新年度になって配られる登録用紙で秋収穫予定の米利用を約束して来ました。

今までに米登録を通してできたことは…、地産地消と持続型農業の推進、適地適作の米づくり、栽培方法の公開、特別栽培米の取組み、生産原価の公開、産地を知る活動、生産体験、GMOフリーゾーン活動、放射能測定などなど…、これらの活動は市場での問題点（産地偽装やブランド米・輸入米への懸念、米ばなれなど。昨年からはTPPに対しても不安が広がっている）を解決すべく、米生産者「丸エビ倶楽部」と提携を深め行ってきたものです。

●さて今年度は…新システムになって米登録はどうなるの？

昨年春に登録した14年産米も、新システムに移行します（確認のためにお知らせがとどきます）。「げんき米」は新システムの予約登録制度＝「よやくらぶ」では、定期予約＝「安心よやくらぶ」の欄で登録することができます。

消費委員会では、毎年行ってきた米登録活動を今年も同じように、4・5月に取組みたいと計画しています。「げんき米」を食べることは、この茨城の地で安心できる米産地を維持することに繋がります。さらに広がっていくことをもねがって。

●「げんき米」はこんなお米

◆1号「ゆめひたち」

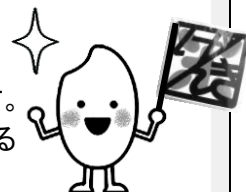
コシヒカリの粘り強さとササニシキの柔らかさを受け継ぎ、冷めても美味しいお弁当やおにぎりに適しています。茨城の風土に合った品種です。

◆2号「コシヒカリ」

粘りが強く、柔らかさ・甘み・香り・つやのバランスが良く、味の濃い料理と一緒にでもおかずの味に負けない品種です。

◆コシヒカリ玄米(10kg)

2号「コシヒカリ」を玄米で供給します。
 ※天候の影響に備え2品種育てることで全減を防ぎます。



◆無農薬じゃないのね？

げんき米は「減農薬・無化学肥料」。県内慣行栽培では約16成分の農薬を使用しますが、8成分で申請。ほとんど5成分以下で栽培されています。

◆放射能検査体制は？

10生産者が出荷している各品種について検査を実施。土壌、収穫前の稲についても検査。生活クラブの自主基準は10Bq/kg以下。（国の基準は100Bq/kg）

●連合産地米について

茨城では米取組み方針として「げんき米」を中心に登録して食べていきます。加えて生活クラブ全体でより大きな産地形成を目指すことも必要と考え「連合産地米」を取組みます。

※特集ページでも予約登録制度を取り上げています。

組織概要	班組合員数 2,406人	12月 世帯利用額 32,989円	【牛久センター】	【水戸センター】
(2014年12月末)	個配組合員 2,416人	12月 総利用高 159,400千円	牛久市猪子町 992-676	水戸市元石川町 302-12
組合員数 4,822人	班数 382班	11月 世帯出資額 118,375円	TEL 029-872-7521	TEL 029-291-8280
			FAX 029-872-7523	FAX 029-291-8281